

## Ⅳ. 学科別履修指針（教育課程表）

1. 応用自然科学科 .....	13
2. 応用理工学科 .....	20
3. 電子情報工学科 .....	27
4. 環境・エネルギー工学科 .....	33
5. 地球総合工学科 .....	38

### 履修上の注意

1. 高学年次に配当されている授業科目は履修することができません。
2. 同一授業時限に行われる 2 以上の授業科目を受講することはできません。
3. 授業科目の配当学期は都合により変更することがあります。
4. 授業概要（シラバス）は、KOANにて閲覧できます。

# 応用自然科学科履修指針

## 応用自然科学科の卒業に要する単位及び履修方法(平成 30 年度入学生)

○ 共通教育系科目（本学部が指定する授業科目等、詳細は「全学共通教育科目履修の手引を参照のこと」）

応用自然科学学科	教養教育科目						言語・情報教育科目				基礎セミナー	健康・スポーツ教育科目	その他(注)	専門基礎教育科目	合計
	基礎教養科目		現代教養科目	先端教養科目	国際教養科目		外国語教育科目			情報処理教育科目					
	基礎教養1	基礎教養3			国際教養1	国際教養2	第1外国語		第2外国語						
							大学英語	実践英語・専門英語							
	2	2	2	-	-	6	6		3	2	-	2	2	※	27
説明	全学共通教育規程の定める教養教育科目のもとに設定されている授業科目の中から、以下の条件で12単位以上を修得しなければならない。 <div>「基礎教養1」「基礎教養3」から各1科目 「現代教養科目」</div> を 選択履修 <div>「国際教養2」から3科目</div>						・第1外国語（英語）は科目区分の区別なく、計6単位以上の修得が必要。第2外国語は下記言語から1種類を選択履修し3単位以上の修得が必要。 ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語 ※外国人留学生は、日本語を履修することができる。  ・情報処理教育科目として、『情報活用基礎』（2単位）の修得が必要。					下記条件で計2単位の修得が必要。  【必修】 『スポーツ実習A』 1単位 + 【選択】 『スポーツ科学』 『健康科学実習A』 『健康科学』 いずれか1単位	備考欄注1参照	※専門教育系科目を参照	
備考	注1: 「その他」の2単位は、教養教育科目のうち「先端教養科目」、「国際教養1」、「基礎セミナー」、言語・情報教育科目の「外国語教育科目の特に指定する科目」、又は教養教育科目の「基礎教養1」「基礎教養3」及び「現代教養科目」のうち、所定の単位数を超えて修得した単位によりこれに充てることができます。  注2: 応用自然科学科のみ、注1に加え「その他」に専門基礎教育科目のうちG30（化学・生物学複合メジャーコース）の英語による開講科目、学科長の承認を得て修得した他学部の専門教育科目、「グローバルコラボレーション科目」及び大学コンソーシアム大阪提供科目の単位をこれに充てることができます。  注3: 外国人留学生が再履修による読替を目的として、専門基礎教育科目のうちG30（化学・生物学複合メジャーコース）の英語による開講科目を修得した場合、「その他」にセットとなる科目の単位を充てることができます。詳細は、「全学共通教育科目 履修の手引き」を確認してください。														

○ 専門教育系科目

応用自然科学学科										
区分	必選	単位数	応用化学コース		応用生物工学コース		精密科学コース		応用物理学コース	
専門教育科目基礎	必修	24	※別表の応用自然科学科「専門基礎教育科目」のうち、◎の必修科目を計24単位修得しなければならない。 ※本科目は専門教育系科目であるが、全学共通教育科目として1年次に開講されるものであるため、 詳細は「全学共通教育科目 履修の手引」を参照すること。							
専門教育科目	・別表の応用自然科学科「専門教育科目」については、各履修コース別の指示に基づき、必修科目、第Ⅰ・第Ⅱ選択科目について、以下のとおり単位を修得しなければならない。									
	必修	82 単位以上	29		26		29		24	
	選択		53 以上	第Ⅰ選択科目及び第Ⅱ 選択科目を合わせて 53単位以上  ※ただし、第Ⅰ選択 科目は42単位以上	56 以上	第Ⅰ選択科目及び第Ⅱ 選択科目を合わせて 56単位以上  ※ただし、第Ⅰ選択 科目は45単位以上	53 以上	第Ⅰ選択科目から 42単位以上	58 以上	第Ⅰ選択科目から 47単位以上
	+		備考参照							
備考	・応用自然科学科の専門教育科目の第Ⅰ選択科目のうち、当該履修コースにおいて第Ⅰ選択科目として指定する授業科目以外の授業科目については、第Ⅱ選択科目として取り扱うものとする。  ・応用化学コース及び応用生物工学コースについては、自由選択科目のうち学科長の承認を得て修得した単位は、第Ⅱ選択科目の単位数に加えることができる。  ・他学科に属する専門教育科目、国際交流科目及びコミュニケーションデザイン科目のうち、学科長の承認を得て修得した単位は、第Ⅱ選択科目の単位数に加えることができる。									

## 専門基礎教育科目(応用自然科学科)

(◎=必修科目)

配当学年	科目区分	授業科目	単位数	コース別指示				開講区分				備考
				応用化学	応用生物	精密科学	応用物理	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	
1年	講義	解析学A	2	◎	◎	◎	◎	✓	✓			
		解析学B	2	◎	◎	◎	◎			✓	✓	
		線形代数学A	2	◎	◎	◎	◎	✓	✓			
		線形代数学B	2	◎	◎	◎	◎			✓	✓	
		力学 I	2	◎	◎	◎	◎	✓	✓			
		電磁気学 I	2	◎	◎	◎	◎			✓	✓	
		化学概論	2	◎	◎	◎	◎	✓	✓			
		生物科学概論A	2	◎	◎	◎	◎	✓	✓			
		生物科学概論B	2	◎	◎	◎	◎			✓	✓	
	演習	数学演習A	1	◎	◎	◎	◎	✓	✓			
		数学演習B	1	◎	◎	◎	◎			✓	✓	
	実験	物理学実験	2	◎	◎	◎	◎	✓	✓			
		化学実験	2	◎	◎	◎	◎			✓	✓	

### ○ 「卒業研究」を履修するための条件

「卒業研究」を履修するためには、3年次終了時までには共通教育系科目・専門教育系科目のそれぞれについて所定の単位数を修得しておく必要があります。卒業研究履修要件の詳細は、**各学科目への分属時に行われるガイダンス**で説明します。

### ○ 学科目への分属

応用自然科学科では下記の分属に関する取り決めに従って分属学科目が決定されます。

#### 【応用自然科学科の構成と分属】

応用自然科学科では、応用化学、応用生物工学、精密科学、応用物理学のいずれかの学科目に分属されます。分属される人数は、応用化学科目は80名程度、応用生物工学科目は60名程度、精密科学科目、応用物理学科目は各40名程度です。

それぞれの属する学科目において設定したコースの中から履修することとなります。

[応用化学科目] …… 応用化学コース      [応用生物工学科目] …… 応用生物工学コース  
[精密科学科目] …… 精密科学コース      [応用物理学科目] …… 応用物理学コース

#### 【学科目分属の時期】

学科目への分属時期は、**1年次終了時**です。

#### 【学科目分属の決定方法】

学科目への分属は、**本人の希望と1年次の成績**を元に行われます。詳細は入学時のガイダンスで説明します。

# 専門教育科目(応用自然科学科)(1)

(◎＝必修科目、○＝第Ⅰ選択科目、△＝第Ⅱ選択科目、▲＝自由選択科目)

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示				開講区分					備考
				応 用 化 学	応 用 生 物	精 密 科 学	応 用 物 理	春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	集 中	
1年	講義	先端科学序論Ⅰ	2	◎	◎	◎	◎	✓	✓				
		先端科学序論Ⅱ	2	◎	◎	◎	◎			✓	✓		
2年	演習	物理化学演習Ⅰ	1	◎						✓	✓		
	実験	物理化学実験	2	◎				✓	✓				
	演習	計算機プログラミング演習	1			◎		✓	✓				
		数値解析および演習	1			◎				✓	✓		
		電磁気学演習	1			◎		✓	✓				
		図形科学演習	1			◎				✓	✓		
		数学解析演習Ⅰ	1			◎				✓	✓		
		情報数理学演習Ⅰ	1				◎			✓	✓		
		情報数理学演習Ⅱ	1				◎			✓	✓		
		応用物理学演習Ⅰ	1				◎	✓	✓				
		応用物理学演習Ⅱ	1				◎			✓	✓		
		応用物理学演習Ⅲ	1				◎			✓	✓		
		ゼミナールⅠ	1	◎						✓	✓		
	講義	数学解析Ⅰ	2	○	○	○	○	✓	✓				
		数学解析Ⅱ	2	○	○					✓	✓		
		数学解析Ⅱ	2			○	○	✓	✓				
		熱力学	2	○	○	○	○	✓	✓				
		量子科学	2	○	○	○	○	✓	✓				
		マクロ生物科学	2	○	○	○	○	✓	✓				
		物理化学Ⅰ	2	○	○			✓	✓				
		物理化学Ⅱ	2	○	○					✓	✓		
		物理化学Ⅲ-1	1	○						✓			
		物理化学Ⅲ-2	1	○							✓		
		無機化学Ⅰ	2	○	○			✓	✓				
		無機化学Ⅱ	2	○						✓	✓		
		有機化学Ⅰ	2	○	○			✓					
		有機化学Ⅱ	2	○	○				✓				
		有機化学Ⅲ	2	○	○					✓	✓		
		分析化学	2	○	○			✓	✓				
		化学工学Ⅰ	2	○	○			✓	✓				
		化学工学Ⅱ	2	○	○					✓	✓		
		高分子化学Ⅰ	2	○			○			✓	✓		
		有機工業化学Ⅰ	2	○						✓	✓		
		生体分子学Ⅰ	2		○			✓	✓				
		生体分子学Ⅱ	2		○			✓	✓				
		ゲノム科学Ⅰ	2		○			✓	✓				
		ゲノム科学Ⅱ	2		○					✓	✓		
		基幹代謝学Ⅰ	2		○					✓	✓		
		生物物理学Ⅰ	2		○			✓	✓				
		生物物理学Ⅱ	2		○		○			✓	✓		
		生物化学工学Ⅰ	2		○					✓	✓		

## 専門教育科目(応用自然科学科)(2)

(◎＝必修科目、○＝第Ⅰ選択科目、△＝第Ⅱ選択科目、▲＝自由選択科目)

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示				開講学期					備考
				応 用 化 学	応 用 生 物	精 密 科 学	応 用 物 理	春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	集 中	
2年	講義	一般力学	2			○	○	✓	✓				
		量子力学Ⅰ	2			○				✓	✓		
		材料力学	2			○	○			✓	✓		
		応用光学Ⅰ	2			○		✓	✓				
		応用光学Ⅱ	2			○				✓	✓		
		結晶物理学	2			○		✓	✓				
		表面科学	2			○				✓	✓		
		機器製作概論	2			○	○	✓	✓				
		物理計測Ⅰ	2			○		✓	✓				
		物理計測Ⅱ	2			○				✓	✓		
		物理化学	2			○		✓	✓				
		電気化学	2			○	○			✓	✓		
		固体物性	2			○				✓	✓		
		解析力学	2			○	○			✓	✓		
		物理数学	2			○	○			✓	✓		
		エレクトロニクス	2				○	✓	✓				
		統計力学	2				○			✓	✓		
		コンピュータ工学	2				○			✓	✓		
		計測制御工学	2				○	✓	✓				
		応用確率論	2				○	✓	✓				
		情報基礎	2				○	✓	✓				
		数理計画	2				○			✓	✓		
		生体分子情報学	2				○			✓	✓		
		量子論Ⅰ	2				○			✓	✓		
		電磁理論Ⅰ	2				○	✓	✓				
		電磁理論Ⅱ	2				○			✓	✓		
		応用数学	2				○			✓	✓		
		電気工学通論	2	△	△	○	△			✓	✓		
		総合科目Ⅲ	2	△	△	△	△	✓	✓				
		Advanced Physics 1	2	▲	▲					✓	✓		
		Biochemistry 1	2	▲	▲					✓	✓		
		Bioinformatics	2	▲	▲					✓	✓		
		Cell Biology 1	2	▲	▲					✓	✓		
		Inorganic Chemistry 1	1	▲	▲					✓	✓		
		Analytical Chemistry 1	1	▲	▲					✓	✓		
		Organic Chemistry 1	2	▲	▲					✓	✓		
		Physical Chemistry 1	2	▲	▲					✓	✓		
3年	講義・実習	工学における安全と倫理	2		◎					✓	✓		
	講義・演習	工学における安全と倫理	2			◎		✓	✓				
	演習	物理化学演習Ⅱ	1	◎				✓	✓				
	実験	有機化学実験	2	◎						✓	✓		

### 専門教育科目(応用自然科学科)(3)

(◎＝必修科目、○＝第Ⅰ選択科目、△＝第Ⅱ選択科目、▲＝自由選択科目)

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示				開講学期					備考
				応 用 化 学	応 用 生 物	精 密 科 学	応 用 物 理	春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	集 中	
3年	実験	分析化学実験	2	◎				✓	✓				
	演習	有機化学演習Ⅰ	1	◎				✓	✓				
		有機化学演習Ⅱ	1	◎						✓	✓		
	実験	応用生物学実験Ⅰ	2		◎							✓	春～夏学期開講
		応用生物学実験Ⅱ	2		◎							✓	春～夏学期開講
		応用生物学実験Ⅲ	1		◎							✓	秋～冬学期開講
		応用生物学実験Ⅳ	2		◎							✓	秋～冬学期開講
		応用生物学実験Ⅴ	2		◎							✓	秋～冬学期開講
		応用生物学実験Ⅵ	1		◎							✓	秋～冬学期開講
		物理化学実験	1		◎							✓	春～夏学期開講
	演習	数学解析演習Ⅱ	1			◎		✓	✓				
		量子力学演習	1			◎				✓	✓		
	講義	精密機器設計製図Ⅰ	1			◎		✓	✓				
	演習	精密機器設計製図Ⅱ	1			◎					✓		
	実験	精密科学実験	4			◎		✓	✓	✓	✓		
		応用物理学実験Ⅰ	1				◎	✓					
		応用物理学実験Ⅱ	1				◎		✓				
		応用物理学実験Ⅲ	1				◎			✓	✓		
	演習	応用物理学演習Ⅳ	1				◎	✓	✓				
		ゼミナールⅡ	1	◎				✓	✓				
		ゼミナールⅡ	1			◎				✓	✓		
		ゼミナールⅢ	1	◎						✓	✓		
	講義	分析科学	2	○	○	○	○	✓	✓				
		物性科学	2	○	○	○	○	✓	✓				
		応用自然科学特論	2	○	○	○				✓	✓		
		有機化学Ⅳ	2	○				✓	✓				
		高分子化学Ⅱ	2	○				✓	✓				
		触媒化学	2	○						✓	✓		
		生化学Ⅰ	2	○				✓	✓				
		生化学Ⅱ	2	○						✓	✓		
		応用電気化学	2	○				✓	✓				
		無機工業化学	2	○				✓	✓				
		有機工業化学Ⅱ	2	○				✓	✓				
		無機材料化学	2	○			○			✓	✓		
		有機材料化学	2	○			○			✓	✓		
		分光光学	2	○				✓	✓				
	演習	バイオ情報解析演習	1		○					✓	✓		
	講義	生物有機化学A	1	○	○					✓			
		生物有機化学B	1	○	○						✓		
		生命情報科学Ⅰ	2		○			✓	✓				
		生命情報科学Ⅱ	2		○					✓	✓		
		基幹代謝学ⅡA	1		○			✓					
		基幹代謝学ⅡB	1		○				✓				

# 専門教育科目(応用自然科学科)(4)

(◎＝必修科目、○＝第Ⅰ選択科目、△＝第Ⅱ選択科目、▲＝自由選択科目)

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示				開講学期					備考
				応 用 化 学	応 用 生 物	精 密 科 学	応 用 物 理	春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	集 中	
3年	講義・演習	生物化学工学Ⅱ	2		○			✓	✓				
		生物化学工学Ⅲ	2		○					✓	✓		
	講義	先端生物工業論	2		○					✓	✓		
		バイオプロセス工学A	1		○					✓			
		バイオプロセス工学B	1		○						✓		
		生物分析科学A	1		○			✓					
		生物分析科学B	1		○				✓				
		情報解析学	2		○			✓	✓				
		工学専門英語総合A	2		○			✓	✓				
		工学専門英語総合B	2		○					✓	✓		
		演習 先端計測工学演習	1		○			✓	✓				
	講義	量子力学Ⅱ	2			○		✓					
		統計力学	2			○			✓				
		有限要素法シミュレーション	2			○		✓	✓				
	演習	量子力学シミュレーション	2			○				✓	✓		
	講義	機器設計学	2			○		✓	✓				
		物理化学加工	2			○				✓	✓		
		システム制御	2			○		✓	✓				
		フォトニクス基礎	2			○				✓	✓		
		半導体デバイス	2			○				✓	✓		
		材料工学Ⅰ	2			○		✓	✓				
		材料工学Ⅱ	2			○				✓	✓		
		振動波動学	2			○				✓	✓		
		物性論Ⅰ	2				○	✓	✓				
		物性論Ⅱ	2	○			○			✓	✓		
		光エレクトロニクス	2				○	✓	✓				
		情報光学	2				○			✓	✓		
		分光学	2				○			✓	✓		
	演習	物性論演習	1				○	✓	✓	✓	✓		
	講義	応用解析学	2				○	✓	✓				
		半導体物理学	2				○			✓	✓		
		量子統計力学	2				○	✓	✓				
		量子光学	2				○			✓	✓		
		量子論Ⅱ	2				○	✓	✓				
		画像情報処理	2				○			✓	✓		
		知識情報処理	2				○			✓	✓		
	講義・演習	データ解析とモデリング	2				○	✓	✓				
	講義	科学技術と社会論	2				○			✓	✓		
		総合科目Ⅳ	2	△	△	△	△			✓	✓		
		Biochemistry 2	2	▲	▲			✓	✓				
		Cell Biology 2	2	▲	▲			✓	✓				
		Inorganic Chemistry 2	1	▲	▲			✓	✓				

## 専門教育科目(応用自然科学科)(5)

(◎＝必修科目、○＝第Ⅰ選択科目、△＝第Ⅱ選択科目、▲＝自由選択科目)

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示				開講学期					備考
				応 用 化 学	応 用 生 物	精 密 科 学	応 用 物 理	春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	集 中	
3年	講義	Analytical Chemistry 2	1	▲	▲			✓	✓				
		Organic Chemistry 2	2	▲	▲			✓	✓				
		Physical Chemistry 2	2	▲	▲			✓	✓				
		Advanced Physics 2	2	▲	▲					✓	✓		
		Molecular Genetics	2	▲	▲					✓	✓		
		Biochemistry 3	2	▲	▲					✓	✓		
		Cell Biology 3	2	▲	▲					✓	✓		
		Genetic Engineering	2	▲	▲					✓	✓		
		Inorganic Chemistry 3	1	▲	▲					✓	✓		
		Analytical Chemistry 3	1	▲	▲					✓	✓		
		Organic Chemistry 3	2	▲	▲					✓	✓		
		Physical Chemistry 3	2	▲	▲					✓	✓		
4年	講義	工学における安全と倫理	2	◎			◎	✓	✓				
	演習	ゼミナールⅢ	1			◎		✓	✓				
	講義・演習	ゼミナールⅣ	1		◎		◎			✓	✓		
	実習	卒業研究	10	◎				✓	✓	✓	✓		
		卒業研究	8		◎	◎	◎	✓	✓	✓	✓		
	講義	特別講義Ⅰ	2			○	○	✓	✓				
		特別講義Ⅱ	2			○	○	✓	✓				
		特別講義Ⅲ	2			○	○	✓	✓				
		特別講義Ⅳ	2			○	○	✓	✓				
		総合科目Ⅰ	1	△	△	△	△	✓					
		総合科目Ⅱ	1	△	△	△	△		✓				
	講義・演習	総合科目Ⅴ	1	△	△	△	△			✓			



# 応用理工学科履修指針

応用理工学科の卒業に要する単位及び履修方法(平成 30 年度入学生)

○ 共通教育系科目（本学部が指定する授業科目等、詳細は「全学共通教育科目履修の手引」を参照のこと）

応用理工学科	教養教育科目						言語・情報教育科目			基礎セミナー	健康・スポーツ教育科目	その他(注)	専門基礎教育科目	合計	
	基礎教養科目		現代教養科目	先端教養科目	国際教養科目		外国語教育科目		情報処理教育科目						
	基礎教養 1	基礎教養 3			国際教養 1	国際教養 2	第 1 外国語								第 2 外国語
							大学英語	実践英語・専門英語							
	2	2	2	-	-	6	6		3	2	-	2	2	※	27
説明	全学共通教育規程の定める教養教育科目のもとに設定されている授業科目の中から、以下の条件で 1 2 単位以上を修得しなければならない。 <div>「基礎教養 1」「基礎教養 3」「現代教養科目」から各 1 科目 「国際教養 2」から 3 科目</div> を選択履修						・ 第 1 外国語（英語）は科目区分の区別なく、計 6 単位以上の修得が必要。第 2 外国語は下記言語から 1 種類を選択履修し 3 単位以上の修得が必要。 ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語 ※外国人留学生は、日本語を履修することができる。 ・ 情報処理教育科目として、『情報活用基礎』（2 単位）の修得が必要。			下記条件で計 2 単位の修得が必要。  【必修】『スポーツ実習 A』1 単位 + 【選択】『スポーツ科学』『健康科学実習 A』『健康科学』いずれか 1 単位		備考欄注1参照	※専門教育系科目を参照		
備考	注1: 「その他」の 2 単位は、教養教育科目のうち「先端教養科目」、「国際教養 1」、「基礎セミナー」、言語・情報教育科目の「外国語教育科目の特に指定する科目」、又は教養教育科目の「基礎教養 1」「基礎教養 3」及び「現代教養科目」のうち、所定の単位数を超えて修得した単位によりこれに充てることができます。 注2: 外国人留学生が再履修による読替を目的として、専門基礎教育科目のうち G30（化学・生物学複合メジャーコース）の英語による開講科目を修得した場合、「その他」にセットとなる科目の単位を充てることができます。詳細は、「全学共通教育科目 履修の手引き」を確認してください。														

○ 専門教育系科目

応用理工学科											
区分	必修	単位数	機械工学コース			マテリアル科学コース			生産科学コース		
専門教育科目基礎	必修	28	※別表の応用理工学科「専門基礎教育科目」のうち、◎の必修科目を計 26 単位及び○印の選択科目を 2 単位以上、合計 28 単位以上を修得しなければならない。 ※本科目は専門教育系科目であるが、全学共通教育科目として1年次に開講されるものであるため、詳細は「全学共通教育科目 履修の手引」を参照すること。								
専門教育科目	・別表の応用理工学科「専門教育科目」については、各履修コース別の指示に基づき、必修科目、第Ⅰ選択科目、第Ⅱ選択科目について、以下のとおり単位を修得しなければならない。										
	必修	81 単位以上	46			23			23		
	選択		35 以上	第Ⅰ選択科目から 20 単位以上		58 以上	第Ⅰ選択科目から 20 単位以上 及び 第Ⅱ選択科目 A から 30 単位以上		58 以上	第Ⅰ選択科目から 20 単位以上 及び 第Ⅱ選択科目 B から 30 単位以上	
	+		備考参照								
備考	・応用理工学科の専門教育科目の選択科目のうち、当該履修コースにおいて第Ⅰ選択科目または第Ⅱ選択科目として指定する授業科目以外の授業科目の単位を履修した場合は、第Ⅱ選択科目の単位数に加えることができる。 ・他学部及び他学科に属する専門教育科目、国際交流科目、コミュニケーションデザイン科目、グローバルコラボレーション科目並びに大学コンソーシアム大阪提供科目のうち、学科長の承認を得て修得した単位は、第Ⅱ選択科目の単位数に加えることができる。										

## 専門基礎教育科目（応用理工学科）

（◎＝必修科目、○＝選択科目）

配当学年	科目区分	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示			開講区分				備考
				機 械 工 学	マ テ リ ア ル 科 学	生 産 科 学	春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	
1年	講義	解析学A	2	◎	◎	◎	✓	✓			
		解析学B	2	◎	◎	◎			✓	✓	
		線形代数学A	2	◎	◎	◎	✓	✓			
		線形代数学B	2	◎	◎	◎			✓	✓	
		力学Ⅰ	2	◎	◎	◎	✓	✓			
		力学Ⅱ	2	◎	◎	◎			✓	✓	
		電磁気学Ⅰ	2	◎	◎	◎			✓	✓	
		化学概論	2	◎	◎	◎	✓	✓			
		基礎無機化学	2	◎	◎	◎			✓	✓	
		図学A	2	◎	◎	◎	✓	✓			
	演習	数学演習A	1	◎	◎	◎	✓	✓			
		数学演習B	1	◎	◎	◎			✓	✓	
		図学実習A	1	○	○	○			✓	✓	
		図学実習C	1	○	○	○			✓	✓	
	実験	物理学実験	2	◎	◎	◎			✓	✓	
		化学実験	2	○	○	○	✓	✓			
2年	講義	電磁気学Ⅱ	2	◎	◎	◎	✓	✓			2年次の春～夏学期開講

### ○ 「卒業研究」を履修するための条件

「卒業研究」を履修するためには、3年次終了時までには共通教育系科目・専門教育系科目のそれぞれについて所定の単位数を修得しておく必要があります。卒業研究履修要件の詳細は、各コース事務室（を通してコース長）へ問い合わせること。

### ○ 学科目への分属

応用理工学科では下記の分属に関する取り決めに従って分属学科目が決定されます。

#### 【応用理工学科の構成と分属】

応用理工学科では、機械工学、マテリアル生産科学のいずれかの学科目に分属されます。  
分属される人数は、機械工学科目は120名程度、マテリアル生産科学科目は130名程度です。  
それぞれの属する学科目において設定したコースの中から履修することとなります。

〔機械工学科目〕…………… 機械工学コース

〔マテリアル生産科学科目〕…………… マテリアル科学コース、生産科学コース

#### 【学科目分属の時期】

学科目への分属時期は、1年次終了時です。

#### 【学科目分属の希望調査】

1月下旬に分属希望調査を行います。

#### 【学科目分属の決定方法】

学科目分属は、各人の希望をもとに決定されます。希望者が多数で、各学科目への分属人数を超える場合は、1年次の履修科目の成績に基づいて分属学科目を決定します。ただし、成績が著しく悪い場合は、希望を考慮しません。

○ **機械工学科目のコース分属**

機械工学科目では全員が機械工学コースでの履修となり、コース分属はありません。

○ **マテリアル生産科学科目のコース分属**

マテリアル生産科学科目では下記の分属に関する取り決めに従って分属コースが決定されます。

**【マテリアル生産科学科目のコース分属】**

マテリアル生産科学科目に分属された学生は、2年次終了時にマテリアル科学コース（80名程度）、生産科学コース（50名程度）のいずれかを希望して履修することになります。

**【コース分け希望調査】**

コース分属ガイダンス：2年次の1月

コース分属希望調査：2年次の3月

コース分属結果発表：2年次の3月

**【コース分属の決定方法】**

分属は、希望順の成績順で行います。成績順位は、卒業要件にかかわる1年次及び2年次の配当科目の総点順位と平均点順位の平均順位とします。ただし、成績下位10％は、各コースの定員比率に従って自動的に振り分けます。

# 専門教育科目(応用理工学科)(1)

(◎＝必修科目、○＝第Ⅰ選択科目、△＝第Ⅱ選択科目、  
 (A)＝第Ⅱ選択科目A、(B)＝第Ⅱ選択科目B、◆＝卒業要件外科目)

注:コース別指示に斜線が入っている科目は、当該コースは履修できない。

配当学年	授業形態	授業科目	単位数	コース別指示			開講区分					備考
				機械工学	マテリアル生産科学		春学期	夏学期	秋学期	冬学期	集中	
					マテリアル科学	生産科学						
1年	講義	応用理工学序論Ⅰ	2	◎	◎	◎	✓	✓				
		応用理工学序論Ⅱ	2	◎	◎	◎			✓	✓		
2年	演習・実験	材料力学演習・実験	1.2	◎			✓	✓				
		機械力学演習・実験	1.2	◎			✓	✓				
		流れ学演習・実験	1.2	◎					✓	✓		
		熱力学演習・実験	1.2	◎					✓	✓		
	実験	機械のしくみ	1	◎			✓	✓				
	講義	材料力学	4	◎			✓	✓				
		機械力学	4	◎			✓	✓				
		流れ学	4	◎					✓	✓		
		熱力学	4	◎					✓	✓		
	実習	機械創成工学実習Ⅰ	1	◎					✓	✓		
	講義	工学倫理	2		◎	◎			✓	✓		
	演習	情報工学演習	1		◎	◎			✓	✓		
	講義	数学解析Ⅰ	2	○	○	○	✓	✓				
		数学解析Ⅱ	2	○	○	○			✓	✓		
		電気電子回路序説	2	○			✓	✓				
		機構学	2	○					✓	✓		
		連続体力学基礎	2	○					✓	✓		
	演習	計算機とプログラミング	3	○					✓	✓		
	講義	確率・統計基礎	2		○	○	✓	✓				
		数値解析基礎	2		○	○	✓	✓				
		材料量子力学Ⅰ	2		○	○	✓	✓				
		材料量子力学Ⅱ	2		○	○			✓	✓		
		材料力学Ⅰ	2	◆	○	○	✓	✓				
		材料力学Ⅱ	2	◆	○	○			✓	✓		
		熱力学Ⅰ	2		○	○	✓	✓				
		熱力学Ⅱ	2		○	○			✓	✓		
		輸送現象論Ⅰ	2	◆	○	○	✓	✓				
		輸送現象論Ⅱ	2		○	○			✓	✓		
		電気電子工学Ⅰ	2		○	○	✓	✓				
		電気電子工学Ⅱ	2		○	○			✓	✓		
		基礎材料科学Ⅰ	2		○	○	✓	✓				
		基礎材料科学Ⅱ	2		○	○			✓	✓		
		生産情報基礎学Ⅰ	2		○	○			✓	✓		
		生産情報基礎学Ⅱ	2		○	○			✓	✓		
		総合科目Ⅲ	2	△	△	△	✓	✓				

## 専門教育科目(応用理工学科)(2)

(◎＝必修科目、○＝第Ⅰ選択科目、△＝第Ⅱ選択科目、  
①＝第Ⅱ選択科目A、②＝第Ⅱ選択科目B、◆＝卒業要件外科目)

注：コース別指示に斜線が入っている科目は、当該コースは履修できない。

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示			開講学期					備考
				機 械 工 学	マテリアル生産科学		春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	集 中	
					マ テ リ ア ル 科 学	生 産 科 学						
2年	実験	ものづくり自主研修Ⅰ	1	◆			✓	✓				卒業要件外科目
		ものづくり自主研修Ⅱ	1	◆					✓	✓		卒業要件外科目
3年	講義	動的システムのモデリングと制御	4	◎			✓	✓				
	演習・実験	動的システムのモデリングと制御演習・実験	1.2	◎			✓	✓				
	実習	機械創成工学実習Ⅱ	2	◎			✓	✓				
		機械創成工学実習Ⅲ	2	◎					✓	✓		
	実験	機械工学実験Ⅰ	0.5	◎			✓	✓				
		機械工学実験Ⅱ	0.5	◎					✓	✓		
		マテリアル科学実験	4		◎		✓	✓				
		マテリアル創成工学	4		◎				✓	✓		
		生産科学実験	4			◎	✓	✓				
		生産創成工学	4			◎			✓	✓		
	講義	応用数学Ⅰ	2	○					✓	✓		
		応用数学Ⅱ	2	○			✓	✓				
	演習	数学解析演習	1	○			✓	✓				
	講義	材料科学通論	2	○			✓	✓				
		材料強度学	2	○					✓	✓		
		流体力学	2	○			✓	✓				
		弾性学	2	○			✓	✓				
		熱工学Ⅰ	2	○			✓	✓				
		機械設計基礎	2	○			✓	✓				
		設計工学	2	○			✓	✓				
		加工学序説	2	○			✓	✓				
		生産工学	2	○					✓	✓		
		制御系設計論	2	○					✓	✓		
		メカトロニクス基礎	2	○					✓	✓		
		熱工学Ⅱ	2	△					✓	✓		
		確率・統計	2	△			✓	✓				
		量子力学	2	△					✓	✓		
		数値解析	2	△					✓	✓		
		計測とデータ処理	2	△					✓	✓		
		塑性学	2	△					✓	✓		
		統計熱力学	2	△					✓	✓		
		管理工学	2	△					✓	✓		
		統計力学	2		㊤		✓	✓				
		固体物性論Ⅰ	2		㊤		✓	✓				
		固体物性論Ⅱ	2		㊤				✓	✓		
		結晶物理学Ⅰ	2		㊤		✓	✓				
		結晶物理学Ⅱ	2		㊤				✓	✓		

### 専門教育科目(応用理工学科)(3)

(◎＝必修科目、○＝第Ⅰ選択科目、△＝第Ⅱ選択科目、  
 A＝第Ⅱ選択科目A、B＝第Ⅱ選択科目B、◆＝卒業要件外科目)

注:コース別指示に斜線が入っている科目は、当該コースは履修できない。

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示			開講学期					備考
				機 械 工 学	マテリアル生産科学		春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	集 中	
					マ テ リ ア ル 科 学	生 産 科 学						
3年	講義	結晶物理学Ⅲ	2		Ⓐ				✓	✓		
		材料の強さⅠ	2		Ⓐ		✓	✓				
		材料の強さⅡ	2		Ⓐ				✓	✓		
	演習	熱力学演習	1		Ⓐ		✓	✓				
	講義	材料物理化学Ⅰ	2		Ⓐ		✓	✓				
		材料物理化学Ⅱ	2		Ⓐ				✓	✓		
		材料プロセス工学Ⅰ	2		Ⓐ		✓	✓				
		材料プロセス工学Ⅱ	2		Ⓐ		✓	✓				
		材料プロセス工学Ⅲ	2		Ⓐ				✓	✓		
		材料プロセス工学Ⅳ	2		Ⓐ				✓	✓		
	演習	輸送現象論演習	1		Ⓐ		✓	✓				
	講義	先端・融合材料学Ⅰ	2		Ⓐ		✓	✓				
		先端・融合材料学Ⅱ	2		Ⓐ				✓	✓		
		先端・融合材料学Ⅲ	2		Ⓐ				✓	✓		
	演習	マテリアル科学ゼミナール	1		Ⓐ		✓	✓				
		固体物性論演習	1		Ⓐ				✓	✓		
	講義	エネルギー加工学Ⅰ	2			Ⓑ	✓	✓				
		エネルギー加工学Ⅱ	2			Ⓑ			✓	✓		
		機能化プロセス工学Ⅰ	2			Ⓑ	✓	✓				
		機能化プロセス工学Ⅱ	2			Ⓑ			✓	✓		
		接合プロセス工学Ⅰ	2			Ⓑ	✓	✓				
		接合プロセス工学Ⅱ	2			Ⓑ			✓	✓		
		接合プロセス工学Ⅲ	2			Ⓑ			✓	✓		
		構造化メカニクスⅠ	2			Ⓑ	✓	✓				
		構造化メカニクスⅡ	2			Ⓑ			✓	✓		
		構造化デザイン工学Ⅰ	2			Ⓑ	✓	✓				
		構造化デザイン工学Ⅱ	2			Ⓑ			✓	✓		
		生産システム工学Ⅰ	4			Ⓑ	✓	✓				
		生産システム工学Ⅱ	2			Ⓑ			✓	✓		
		生産機器工学Ⅰ	2			Ⓑ	✓	✓				
		生産機器工学Ⅱ	2			Ⓑ			✓	✓		
		生産情報工学Ⅰ	2			Ⓑ	✓	✓				
		生産情報工学Ⅱ	2			Ⓑ			✓	✓		
		信頼性工学	2			Ⓑ			✓	✓		
		環境調和工学	2			Ⓑ			✓	✓		
		生産マネジメント	2			Ⓑ			✓	✓		
		プロセッシング材料学	2			Ⓑ	✓	✓				
		特別講義	2			△	✓	✓				

# 専門教育科目(応用理工学科)(4)

(◎＝必修科目、○＝第Ⅰ選択科目、△＝第Ⅱ選択科目、  
 ④＝第Ⅱ選択科目A、⑤＝第Ⅱ選択科目B、◆＝卒業要件外科目)

注:コース別指示に斜線が入っている科目は、当該コースは履修できない。

注:コース別指示に斜線が入っている科目は、当該コースは履修できない。

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示			開講学期					備考
				機 械 工 学	マテリアル生産科学		春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	集 中	
					マ テ リ ア ル 科 学	生 産 科 学						
3年	講義	溶接工学	2		△		✓	✓				
		設計製図学	2		△				✓	✓		
		インターンシップ	1	<div></div>	△	△					✓	夏季集中
		工学英語基礎Ⅰ	2		△	△	✓	✓				
		工学英語基礎Ⅱ	2		△	△			✓	✓		
		総合科目Ⅳ	2	△	△	△			✓	✓		
		インターンシップ	1	◆	<div></div>	<div></div>					✓	※夏季集中/卒業要件外科目
4年	講義	工学倫理	2	◎			✓	✓				
	実習	卒業研究	7	◎			✓	✓	✓	✓		
		卒業研究	8		◎	◎	✓	✓	✓	✓		
	演習	アドバンスプログラミング演習	1	△			✓	✓				
	講義	数理計画法	2	△			✓	✓				
		有限要素解析とCAE	2	△			✓	✓				
		ロボティクス	2	△			✓	✓				
		特別講義	2			㊦	✓	✓				
		総合科目Ⅰ	1	△	△	△	✓					
		総合科目Ⅱ	1	△	△	△		✓				
講義・演習	総合科目Ⅴ	1	△	△	△			✓				

# 電子情報工学科履修指針

## 電子情報工学科の卒業に要する単位及び履修方法(平成 30 年度入学生)

○ 共通教育系科目（本学部が指定する授業科目等、詳細は「全学共通教育科目履修の手引」を参照のこと）

電子情報工学科	教養教育科目						言語・情報教育科目				基礎セミナー	健康・スポーツ教育科目	その他(注)	専門基礎教育科目	合計
	基礎教養科目		現代教養科目	先端教養科目	国際教養科目		外国語教育科目			情報処理教育科目					
	基礎教養1	基礎教養3			国際教養1	国際教養2	第1外国語		第2外国語						
							大学英語	実践英語・専門英語							
	2	2	2	-	-	6	6		3	2	-	2	2	※	27
説明	全学共通教育規程の定める教養教育科目のもとに設定されている授業科目の中から、以下の条件で12単位以上を修得しなければならない。 <div>「基礎教養1」「基礎教養3」から各1科目 「現代教養科目」</div> <div>「国際教養2」から3科目</div> <div>を選択履修</div>						・第1外国語（英語）は科目区分の区別なく、計6単位以上の修得が必要。第2外国語は下記言語から1種類を選択履修し3単位以上の修得が必要。 ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語 ※外国人留学生は、日本語を履修することができる。 ・情報処理教育科目として、『情報活用基礎』（2単位）の修得が必要。				基礎セミナー	下記条件で計2単位の修得が必要。  【必修】『スポーツ実習A』1単位 + 【選択】『スポーツ科学』『健康科学実習A』『健康科学』いずれか1単位	備考欄注1参照	※専門教育系科目を参照	
備考	注1: 「その他」の2単位は、教養教育科目のうち「先端教養科目」、「国際教養1」、「基礎セミナー」、言語・情報教育科目の「外国語教育科目」の特に指定する科目、又は教養教育科目の「基礎教養1」「基礎教養3」及び「現代教養科目」のうち、所定の単位数を超えて修得した単位によりこれに充てることができます。 注2: 外国人留学生が再履修による読替を目的として、専門基礎教育科目のうちG30（化学・生物学複合メジャーコース）の英語による開講科目を修得した場合、「その他」にセットとなる科目の単位を充てることができます。詳細は、「全学共通教育科目 履修の手引き」を確認してください。														

○ 専門教育系科目

電子情報工学科										
区分	必修	単位数	電気工学コース		電子工学コース		通信工学コース		情報システム工学コース	
教育専門科目基礎	必修	24	※別表の電子情報工学科「専門基礎教育科目」のうち、◎の必修科目を計20単位及び○印の選択科目を4単位以上、合計24単位以上修得しなければならない。 ※本科目は専門教育系科目であるが、全学共通教育科目として1年次に開講されるものであるため、詳細は「全学共通教育科目 履修の手引」を参照すること。							
専門教育科目	・別表の電子情報工学科「専門教育科目」については、各履修コース別の指示に基づき、必修科目、選択科目群A～Hについて、以下のとおり単位を修得しなければならない。									
	必修	85 単位以上	34		34		34		34	
	選択		51 以上	選択科目群 Aから12単位以上、 Bから21単位以上、 Cから8単位以上		51 以上	選択科目群 Aから5単位以上、 Bから6単位以上、 Cから7単位以上、 Dから5単位以上、 Eから9単位以上 ※選択科目群Fの科目も履修 することが望ましい。		51 以上	選択科目群 A～Fから各4単位以上 ※選択科目群Gの科目も履修 することが望ましい。
	+		※要件充足のため、選択科目群Hの科目を含められる		※要件充足のため、選択科目群F及びHの科目を含められる		※要件充足のため、選択科目群F及びHの科目を含められる		※要件充足のため、選択科目群G及びHの科目を含められる	
備考	・電子情報工学科の専門教育科目の選択科目のうち、当該履修コースにおいて選択科目群A～Gとして指定する授業科目以外の授業科目については、卒業要件として利用できる選択科目群Hの科目として取り扱うものとする。 ・他学部及び他学科に属する専門教育科目、国際交流科目、コミュニケーションデザイン科目、グローバルコラボレーション科目並びに大学コンソーシアム大阪提供科目のうち、学科長の承認を得て修得した単位は、その他卒業要件単位として利用できる選択科目群Hの単位数として扱うものとする。									

### 【履修科目の登録単位数の上限】

1年間の履修科目の登録単位数の上限は 60 単位（ただし、教職科目は除く）とする。このうち、専門教育科目の登録単位数の上限は 45 単位である。ただし、下記に示す以下の三つの要件を全て満たす成績を修めた者は、上限を超えて専門教育科目を 55 単位まで履修科目として登録できる。

- (1) 前年度において、卒業の要件として修得すべき単位を 32 単位以上修得していること
- (2) 前年度において、卒業の要件として修得した単位の80%以上がS又はAであること
- (3) 学科長が「特に成績が優秀」と認めた者

なお、特に優秀な成績を修めた者には、3年次に卒業研究を履修し、3年次終了時点で早期卒業する制度がある。



## 専門基礎教育科目（電子情報工学科）

（◎＝必修科目、○＝選択科目）

配当学年	科目区分	授業科目	単位数	コース別指示				開講区分				備考
				電気工学	電子工学	通信工学	情報システム工学	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	
1年	講義	解析学A	2	◎	◎	◎	◎	✓	✓			
		解析学B	2	◎	◎	◎	◎			✓	✓	
		線形代数学A	2	◎	◎	◎	◎	✓	✓			
		線形代数学B	2	◎	◎	◎	◎			✓	✓	
		力学Ⅰ	2	○	○	○	○	✓	✓			
		力学Ⅱ	2	○	○	○	○			✓	✓	
		電気物理学A	2	◎	◎	◎	◎	✓				※電気物理学A・Bについては2クラスに分け、春～夏学期に1組はAを、2組はBを履修する。秋～冬学期ではその逆を履修する。
		電気物理学B	2	◎	◎	◎	◎					
		化学概論	2	◎	◎	◎	◎	✓	✓			
		分子化学A	2	○	○	○	○			✓	✓	
	演習	数学演習A	1	◎	◎	◎	◎	✓	✓			
		数学演習B	1	◎	◎	◎	◎			✓	✓	
	実験	物理学実験	2	◎	◎	◎	◎	✓	✓			
		化学実験	2	◎	◎	◎	◎			✓	✓	
2年	講義	熱学・統計力学要論	2	○	○	○	○	✓	✓			2年次の春～夏学期開講

### ○ 「卒業研究」を履修するための条件

「卒業研究」を履修するためには、3年次終了時までには共通教育系科目・専門教育系科目のそれぞれについて所定の単位数を修得しておく必要があります。卒業研究履修要件の詳細は、各コースで実施されるガイダンスで説明します。

### ○ 学科目への分属

電子情報工学科では下記の分属に関する取り決めに従って分属学科目が決定されます。

#### 【電子情報工学科の構成と分属】

電子情報工学科では、電気電子工学、情報通信工学のいずれかの学科目に分属されます。分属される人数は、電気電子工学科目は90名程度、情報通信工学科目は70名程度です。それぞれの属する学科目において設定したコースの中から履修することとなります。

〔電気電子工学科目〕… 電気工学コース、電子工学コース

〔情報通信工学科目〕… 通信工学コース、情報システム工学コース

#### 【学科目分属の時期】

学科目への分属時期は、1年次終了時です。

#### 【学科目分属の希望調査】

学科目分属ガイダンス：1年次の1月もしくは2月

学科目分属希望調査：1年次の2月

学科目分属結果発表：1年次の3月

#### 【学科目分属の要件】

大幅単位不足者は分属されません。

#### 【学科目分属の決定方法】

学科目分属は、希望及び成績に基づいて行われます。

## ○ コースへの分属

下記の分属に関する取り決めに従って分属コースが決定されます。

電気電子工学科目に分属された学生は、電気工学コース（35 名程度）、電子工学コース（55 名程度）のいずれかを希望して履修することになります。

情報通信工学科目に分属された学生は、通信工学コース（35 名程度）、情報システム工学コース（35 名程度）のいずれかを希望して履修することになります。

### 【コース分属の時期】

コースへの分属時期は、2 年次 1 学期終了時です。

### 【コース分属の希望調査】

コース分属ガイダンス：2 年次の 7 月

コース分属希望調査：2 年次の 8 月

コース分属結果発表：2 年次の 9 月

### 【コース分属の決定方法】

コース分属は、希望及び成績を考慮して行われます。

# 専門教育科目(電子情報工学科)(1)

(◎＝必修科目、A～G＝選択科目A～G)

注：コース別指示に斜線が入っている科目は、当該コースは履修できない。

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示				開講区分					備 考
				電 気 工 学	電 子 工 学	通 信 工 学	テ レ ビ ・ 情 報 工 学 シ ス テ ム	春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	集 中	
1年	講義	コンピュータシステムⅠ	2	◎	◎	◎	◎			✓			
		コンピュータシステムⅡ	2	◎	◎	◎	◎				✓		
		電子情報工学序論	2	C	F	F	G	✓	✓				
2年	実験	電子情報工学創成実験	2	◎	◎	◎	◎	✓	✓				
	講義	コンピュータサイエンスとプログラミングⅠ	2	◎	◎	◎	◎	✓					
		コンピュータサイエンスとプログラミングⅡ	2	◎	◎	◎	◎		✓				
	講義・演習	電磁理論ⅠA	2	◎	◎			✓					電気工学・電子工学対象
		電磁理論ⅠB	2	◎	◎				✓				電気工学・電子工学対象
	講義	電気電子回路基礎論Ⅰ	2	◎	◎			✓					電気工学・電子工学対象
		電気電子回路基礎論Ⅱ	2	◎	◎				✓				電気工学・電子工学対象
		情報通信基礎Ⅰ	2			◎	◎	✓	✓				通信工学・情報システム工学対象
		情報通信基礎Ⅱ	2			◎	◎	✓	✓				通信工学・情報システム工学対象
		情報通信数学Ⅰ	2			◎	◎			✓	✓		通信工学・情報システム工学対象
		情報通信数学Ⅱ	2			◎	◎			✓	✓		通信工学・情報システム工学対象
		数学解析Ⅰ	2	A	A	A	A	✓	✓				
		数学解析Ⅱ	2	A	A	A	A			✓	✓		
	演習	数学解析演習	1			A				✓	✓		通信工学対象
	講義	数値解析	2	B	A	A	A			✓	✓		
		確率統計	2	B	A	A	A	✓	✓				
	講義・演習	電磁理論ⅡA	2	A	B					✓	✓		電気工学・電子工学対象
		電磁理論ⅡB	2	A	B					✓	✓		電気工学・電子工学対象
	講義	電磁気学基礎	2			B	B	✓	✓				通信工学・情報システム工学対象
		電磁気学Ⅰ	2			B	B	✓	✓				通信工学・情報システム工学対象
		電磁気学Ⅱ	2			B	B			✓	✓		通信工学・情報システム工学対象
		量子論基礎	2	A	D	F	G	✓	✓				
		量子力学	2	A	D					✓	✓		
	演習	量子力学演習	1	B	D					✓	✓		
	講義	電子回路の基礎Ⅰ	2			C	C	✓	✓				通信工学・情報システム工学対象
		電子回路の基礎Ⅱ	2			C	C			✓	✓		通信工学・情報システム工学対象
	演習	電気電子回路演習	1	A	C				✓				
	講義	回路とシステム	2	B	C					✓	✓		電気工学・電子工学対象
		アナログ電子回路	2	B	C					✓	✓		電気工学・電子工学対象
		電気機器	2	B	F					✓	✓		
		電子材料デバイス基礎	2	C	E			✓	✓				
		物性論Ⅰ	2	A	E					✓	✓		
		光量子ビーム基礎論	2	B						✓	✓		
		プラズマ基礎論	2	B	B					✓	✓		
		システムプログラム	2			F	E			✓	✓		
		データベース工学	2			F	E			✓	✓		
		知識工学	2			F	E			✓	✓		
	講義・演習	プログラミング技法Ⅰ	2			D				✓	✓		
	講義	情報理論	2			D	D			✓	✓		

## 専門教育科目(電子情報工学科)(2)

(◎＝必修科目、A～G＝選択科目A～G)

注:コース別指示に斜線が入っている科目は、当該コースは履修できない。

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示				開講学期					備考
				電 気 工 学	電 子 工 学	通 信 工 学	テ レ ビ ・ 情 報 工 学 シ ス テ ム	春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	集 中	
2年	演習	情報通信工学基礎演習	2			D				✓	✓		
	講義・演習	情報システムネットワーク及び演習	2				F			✓	✓		
	講義	総合科目Ⅲ	2					✓	✓				
3年	実験	電子情報工学専門実験第1部	2	◎	◎	◎	◎	✓	✓				
		電子情報工学専門実験第2部	2	◎	◎	◎	◎			✓	✓		
	講義	産業社会と工学倫理	2	◎	◎					✓	✓		電気工学・電子工学対象
		情報社会と工学倫理	2			◎	◎	✓	✓				通信工学・情報システム工学対象
	演習	数学解析演習	1	A	A		A	✓	✓				電気工学・電子工学・情報システム工学対象
	講義	システム線形代数	2	B		F	G	✓	✓				
		電磁波工学	2	C		E		✓	✓				
		光波工学	2			E				✓	✓		
		光波エレクトロニクス	2	B	B			✓	✓				
		量子エレクトロニクス	2	B	B					✓	✓		
		計測基礎	2	A	D			✓	✓				
		ナノ物性計測	2	C	D					✓	✓		
		回路とシステム	2							✓	✓		通信工学・情報システム工学対象
		アナログ電子回路	2							✓	✓		通信工学・情報システム工学対象
		デジタル電子回路	2	B	C	C	C	✓	✓				
		生体エレクトロニクス	2	C	C		G	✓	✓				
		制御工学Ⅰ	2	A	C	F	G	✓	✓				
		制御工学Ⅱ	2	B		F				✓	✓		
		数理計画法	2	B		F	G			✓	✓		
		信号とシステム	2	B	F	E	D	✓	✓				
		デジタル信号処理	2	B	F	E	D			✓	✓		
		デジタル画像処理	2	C		F	D			✓	✓		
		パワーエレクトロニクス	2	B	F			✓	✓				
		電力工学Ⅰ	2	B	F			✓	✓				
		電力工学Ⅱ	2	B						✓	✓		
		電気機械設計製図	2	C						✓	✓		
		電気絶縁工学	2	C						✓	✓		
		物性論Ⅱ	2	B	E			✓	✓				
	演習	物性論演習	1	B	E			✓	✓				
	講義	半導体工学Ⅰ	2	A	E			✓	✓				
		半導体工学Ⅱ	2	B	E					✓	✓		
		集積回路工学	2	C	E					✓	✓		
		分子電子材料	2	C	E					✓	✓		
		計算物理基礎学	2	B				✓	✓				
		通信ネットワーク工学	2			E	D			✓	✓		
		通信方式	2			E	D			✓	✓		
		符号理論	2			E	D	✓	✓				
		コンパイラ	2			F	E	✓	✓				
		人間情報工学	2			F	E	✓	✓				

専門教育科目(電子情報工学科)(3)

(◎＝必修科目、A～G＝選択科目A～G)

注:コース別指示に斜線が入っている科目は、当該コースは履修できない。

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示				開講学期					備考
				電 気 工 学	電 子 工 学	通 信 工 学	テ 情 ム 報 工 学 ス	春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	集 中	
3年	演習	情報システム工学演習Ⅰ	2				G	✓	✓				
	講義・演習	プログラミング技法Ⅱ	2			D		✓	✓				
	演習	情報システム工学演習Ⅱ	2				G			✓	✓		
	講義	情報社会と職業	2				G			✓	✓		
		総合科目Ⅳ	2							✓	✓		
	講義・演習	セキュリティPBLⅠ	1			F						✓	春～夏学期開講
		セキュリティPBL特論	1			F						✓	秋～冬学期開講
		先進セキュリティPBLⅠ	1			F						✓	春～夏学期開講
		先進セキュリティPBLⅡ	1			F						✓	春～冬学期開講
	講義	セキュリティ基礎論	2			D	D	✓	✓				
	講義・演習	機械学習とデータ処理及び演習	2				F	✓	✓				
		量子コンピューティング及び演習	2				F	✓	✓				
		ソフトウェア工学及び演習	2				F			✓	✓		
4年	実習	卒業研究	10	◎	◎	◎	◎	✓	✓	✓	✓		
	講義	電気法規	2	C				✓	✓				
		総合科目Ⅰ	1					✓					
		総合科目Ⅱ	1						✓				
	講義・演習	総合科目Ⅴ	1							✓			

## 環境・エネルギー工学科履修指針

環境・エネルギー工学科の卒業に要する単位及び履修方法(平成 30 年度入学生)

○ 共通教育系科目（本学部が指定する授業科目等、詳細は「全学共通教育科目履修の手引」を参照のこと）

環境・エネルギー工学科	教養教育科目						言語・情報教育科目				基礎セミナー	健康・スポーツ教育科目	その他(注)	専門基礎教育科目	合計
	基礎教養科目		現代教養科目	先端教養科目	国際教養科目		外国語教育科目			情報処理教育科目					
	基礎教養1	基礎教養3			国際教養1	国際教養2	第1外国語		第2外国語						
							大学英語	実践英語・専門英語							
	2	2	2	-	-	6	6		3	2	-	2	2	※	27
説明	全学共通教育規程の定める教養教育科目のもとに設定されている授業科目の中から、以下の条件で12単位以上を修得しなければならない。 <div>「基礎教養1」「基礎教養3」から各1科目 「現代教養科目」</div> <div>「国際教養2」から3科目</div> を選択履修						・第1外国語（英語）は科目区分の区別なく、計6単位以上の修得が必要。第2外国語は下記言語から1種類を選択履修し3単位以上の修得が必要。 ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語 ※外国人留学生は、日本語を履修することができる。 ・情報処理教育科目として、『情報活用基礎』（2単位）の修得が必要。					下記条件で計2単位の修得が必要。  【必修】『スポーツ実習A』1単位 + 【選択】『スポーツ科学』『健康科学実習A』『健康科学』いずれか1単位	備考欄注1参照	※専門教育系科目を参照	
備考	注1: 「その他」の2単位は、教養教育科目のうち「先端教養科目」、「国際教養1」、「基礎セミナー」、言語・情報教育科目の「外国語教育科目の特に指定する科目」、又は教養教育科目の「基礎教養1」「基礎教養3」及び「現代教養科目」のうち、所定の単位数を超えて修得した単位によりこれに充てることができます。 注2: 外国人留学生が再履修による読替を目的として、専門基礎教育科目のうちG30（化学・生物学複合メジャーコース）の英語による開講科目を修得した場合、「その他」にセットとなる科目の単位を充てることができます。詳細は、「全学共通教育科目 履修の手引き」を確認してください。														

○ 専門教育系科目

環境・エネルギー工学科								
区分	必選	単位数	環境工学コース		エネルギー量子工学コース			
専門教育科目基礎	必修	26	※別表の環境・エネルギー工学科「専門基礎教育科目」のうち、◎の必修科目を計20単位及び○印の選択科目を6単位以上、合計26単位以上を修得しなければならない。 ※本科目は専門教育系科目であるが、全学共通教育科目として1年次に開講されるものであるため、詳細は「全学共通教育科目 履修の手引」を参照すること。					
専門教育科目	・別表の環境・エネルギー工学科「専門教育科目」については、必修科目、選択科目について、以下のとおり単位を修得しなければならない。							
	必修	85 単位以上	48		48			
	選択		37 以上	選択科目A，B，Cを合わせて37単位以上 ※ただし、選択科目Bから18単位以上		37 以上	選択科目A，B，Cを合わせて37単位以上 ※ただし、選択科目Cから18単位以上	
	+		備考参照					
備考	・他学部及び他学科に属する専門教育科目、国際交流科目、コミュニケーションデザイン科目、グローバルコラボレーション科目並びに大学コンソーシアム大阪提供科目のうち、学科長の承認を得て修得した単位は、選択科目Aの単位数として取り扱うものとする。（ただし、大学コンソーシアム大阪提供科目については、4単位までを上限とする。）							

## 専門基礎教育科目（環境・エネルギー工学科）

（◎＝必修科目、○＝選択科目）

配当学年	科目区分	授 業 科 目	単 位 数	必 選 区 分	開講区分				備考
					春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	
1年	講義	解析学A	2	◎	✓	✓			
		解析学B	2	○			✓	✓	
		線形代数学A	2	◎	✓	✓			
		力学Ⅰ	2	◎	✓	✓			
		力学Ⅱ	2	○			✓	✓	
		図学B-Ⅰ	2	◎	✓	✓			
		図学B-Ⅱ	2	○			✓	✓	
		化学概論	2	◎	✓	✓			
		生物科学概論B	2	◎			✓	✓	
		統計学C-Ⅰ	2	◎	✓	✓			
	演習	数学演習A	1	◎	✓	✓			
		数学演習B	1	○			✓	✓	
		図学実習B-Ⅰ	1	◎	✓	✓			
		図学実習B-Ⅱ	1	○			✓	✓	
	実験	物理学実験	2	◎	✓	✓			
		化学実験	2	◎			✓	✓	
2年	講義	熱学・統計力学要論	2	○	✓	✓			2年次の春～夏学期開講

### ○ 「卒業研究」を履修するための条件

「卒業研究」を履修するためには、共通教育系科目・専門基礎教育科目・専門教育科目のそれぞれについて所定の単位数を修得しておく必要があります。卒業研究履修要件は、各年次でのクラス別懇談会等で説明します。詳細については、クラス担任やチュータ教員に問い合わせてください。

### ○ 学科目への分属

環境・エネルギー工学科では下記の分属に関する取り決めに従って分属学科目が決定されます。

#### 【環境・エネルギー工学科の構成と分属】

環境・エネルギー工学科では、環境工学科目、エネルギー量子工学科目のいずれかの学科目に分属されます。

分属される人数は、環境工学科目は40名程度、エネルギー量子工学科目は35名程度です。

環境工学科目では全員が環境工学コースを履修します。

エネルギー量子工学科目では全員がエネルギー量子工学コースを履修します。

#### 【学科目分属の時期】

学科目への分属時期は、2年次終了時です。

#### 【学科目分属の決定方法】

学科目分属は、希望及び成績に基づいて行われます。

# 専門教育科目(環境・エネルギー工学科)(1)

(◎＝必修科目、A～C＝選択科目A～C)

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示		開講区分					備考
				環 境 工 学	エ ネ ル ギ ー 量 子 工 学	春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	集 中	
1年	講義	環境・エネルギー工学概論Ⅰ	2	◎	◎	✓	✓				
		環境・エネルギー工学概論Ⅱ	2	◎	◎			✓	✓		
2年	演習・実験	環境・エネルギー工学演習・実験Ⅰ	2	◎	◎	✓	✓				
	講義	電気力学	2	◎	◎	✓	✓				
		物理化学	2	◎	◎	✓	✓				
		環境科学	2	◎	◎	✓	✓				
		確率・統計	2	◎	◎	✓	✓				
		都市・環境デザイン概論	2	◎	◎	✓	✓				
		熱力学概論	1	◎	◎	✓					
		熱統計力学	1	◎	◎		✓				
	演習・実験	環境・エネルギー工学演習・実験Ⅱ	2	◎	◎			✓	✓		
	講義	情報処理	2	◎	◎			✓	✓		
		環境システム工学	2	◎	◎			✓	✓		
		基礎光学	2	◎	◎			✓	✓		
		伝熱学	2	◎	◎			✓	✓		
		流体力学	2	◎	◎			✓	✓		
		量子エネルギー基礎論Ⅰ	1	◎	◎			✓			
		空間情報学Ⅰ	1	◎	◎			✓			
		数学解析Ⅰ	2	A	A	✓	✓				
		環境・エネルギー数理	2	A	A	✓	✓				
		数学解析Ⅱ	2	A	A			✓	✓		
		物理数学	2	A	A			✓	✓		
		都市環境工学	2	A	A			✓	✓		
		地球温暖化問題概論	2	A	A			✓	✓		
		エネルギー材料工学	1	A	A			✓			
		基礎化学	1	A	A			✓			
		量子エネルギー基礎論Ⅱ	1	A	A				✓		
		回路理論基礎	1	A	A				✓		
		空間情報学Ⅱ	1	A	A				✓		
		放射線物理学	1	A	A				✓		
		総合科目Ⅲ	2	A	A	✓	✓				
3年	講義	工学倫理	2	◎	◎	✓	✓				
	演習・実験	環境工学演習・実験Ⅰ	2	◎		✓	✓				
		エネルギー量子工学演習・実験Ⅰ	2		◎	✓	✓				
		環境工学演習・実験Ⅱ	2	◎				✓	✓		
		エネルギー量子工学演習・実験Ⅱ	2		◎			✓	✓		
	演習	科学技術英語Ⅰ	2	A	A	✓	✓				
		科学技術英語Ⅱ	2	A	A			✓	✓		



# 専門教育科目(環境・エネルギー工学科)(2)

(◎＝必修科目、○＝選択科目)

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示		開講学期					備考
				環境 工学	エネルギー 量子工学	春 学期	夏 学期	秋 学期	冬 学期	集 中	
3年	講義	環境評価学	2	B	B	✓	✓				
		気象・水文学	2	B	B	✓	✓				
		都市計画学	2	B	B	✓	✓				
		環境デザイン学	2	B	B	✓	✓				
		環境化学工学	2	B	B	✓	✓				
		都市エネルギーシステム学	2	B	B	✓	✓				
		コミュニケーションデザイン論	2	B	B	✓	✓				
		構造・材料力学	2	B	B	✓	✓				
		基礎生態学	2	B	B	✓	✓				
		資源材料循環工学	2	B	B	✓	✓				
		環境動態学	2	B	B			✓	✓		
		都市デザイン学	2	B	B			✓	✓		
		環境設計情報学	2	B	B			✓	✓		
		自然・社会生態システム学	2	B	B			✓	✓		
		特別講義Ⅱ	2	B	B			✓	✓		
		セラミック材料プロセス学	2	B	B			✓	✓		
		金属材料プロセス学	2	B	B			✓	✓		
		水環境工学	2	B	B			✓	✓		
		都市・建築エネルギーシステム	2	B	B			✓	✓		
		環境・エネルギー政策学基礎	1	B	B			✓			
		リスク解析学基礎	1	B	B				✓		
		量子線生物学	2	C	C	✓	✓				
		電磁気学	2	C	C	✓	✓				
		量子力学	2	C	C	✓	✓				
		固体物理Ⅰ	2	C	C	✓	✓				
		放射線化学	2	C	C	✓	✓				
		放射線計測学	2	C	C	✓	✓				
		計測制御工学	1	C	C	✓					
		電子回路	1	C	C	✓					
		量子化学	1	C	C		✓				
		材料熱力学	1	C	C		✓				
		原子力エネルギー工学	2	C	C			✓	✓		
		量子ビーム工学	2	C	C			✓	✓		
		応用光学	2	C	C			✓	✓		
		特別講義Ⅰ	2	C	C			✓	✓		
		無機化学	2	C	C			✓	✓		
		固体物理Ⅱ	2	C	C			✓	✓		

### 専門教育科目(環境・エネルギー工学科)(3)

(◎＝必修科目、○＝選択科目)

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示		開講区分					備考
				環 境 工 学	エ ネ ル ギ ー 工 学	春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	集 中	
3年	講義	核融合工学	2	C	C			✓	✓		
		分析化学	1	C	C			✓			
		界面化学	1	C	C			✓			
		総合科目Ⅳ	2	A	A			✓	✓		
4年	実習	卒業研究	10	◎	◎	✓	✓	✓	✓		
	講義	総合科目Ⅰ	1	A	A	✓					
		総合科目Ⅱ	1	A	A		✓				
	講義・演習	総合科目Ⅴ	1	A	A			✓			

# 地球総合工学科履修指針

## 地球総合工学科の卒業に要する単位及び履修方法（平成 30 年度入学生）

○ 共通教育系科目（本学部が指定する授業科目等、詳細は「全学共通教育科目履修の手引」を参照のこと）

地球総合工学科	教養教育科目						言語・情報教育科目			基礎セミナー	健康・スポーツ教育科目	その他(注)	専門基礎教育科目	合計	
	基礎教養科目		現代教養科目	先端教養科目	国際教養科目		外国語教育科目								
	基礎教養1	基礎教養3			国際教養1	国際教養2	第1外国語		第2外国語						
							大学英語	実践英語・専門英語							
	2	2	2	－	－	6	6		3	2	－	2	2	※	27
説明	全学共通教育規程の定める教養教育科目のもとに設定されている授業科目の中から、以下の条件で1・2単位以上を修得しなければならない。 「基礎教養1」「基礎教養3」から各1科目 「現代教養科目」を2単位以上を修得しなければならない。 「国際教養2」から3科目						・第1外国語（英語）は科目区分の区別なく、計6単位以上の修得が必要。第2外国語は下記言語から1種類を選択履修し3単位以上の修得が必要。 ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語 ※外国人留学生は、日本語を履修することができる。 ・情報処理教育科目として、『情報活用基礎』（2単位）の修得が必要。			下記条件で計2単位の修得が必要。 【必修】『スポーツ実習A』1単位 + 【選択】『スポーツ科学』『健康科学実習A』『健康科学』いずれか1単位			備考欄注1参照	※専門教育系科目を参照	
備考	注1: 「その他」の2単位は、教養教育科目のうち「先端教養科目」、「国際教養1」、「基礎セミナー」、言語・情報教育科目の「外国語教育科目」のみに指定する科目、又は教養教育科目の「基礎教養1」「基礎教養3」及び「現代教養科目」のうち、所定の単位数を超えて修得した単位によりこれに充てることができます。 注2: 地球総合工学科船舶海洋工学科目のみ、注1に加えて学科長の承認を得て修得した「大学コンソーシアム大阪提供科目」の単位をこれに充てることができます。 注3: 外国人留学生が再履修による読替を目的として、専門基礎教育科目のうちG30（化学・生物学複合メジャーコース）の英語による開講科目を修得した場合、「その他」にセットとなる科目の単位を充てることができます。詳細は、「全学共通教育科目 履修の手引き」を確認してください。														

○ 専門教育系科目

地球総合工学科										
区分	必選	単位数	船舶海洋工学コース			社会基盤工学コース		建築工学コース		
専 門 教 育 系 科 目 基 礎	必修	28	※別表の地球総合工学科「専門基礎教育科目」のうち、◎の必修科目を計 1 8 単位及び○印の選択科目を 1 0 単位以上、合計 2 8 単位以上を修得しなければならない。 ※本科目は専門教育系科目であるが、全学共通教育科目として 1 年次に開講されるものであるため、詳細は「全学共通教育科目 履修の手引」を参照すること。							
専 門 教 育 系 科 目	・別表の地球総合工学科「専門教育科目」については、各履修コース別の指示に基づき、必修科目、第Ⅰ選択科目・第Ⅱ選択科目、選択科目について、以下のとおり単位を修得しなければならない。									
	必修	84 単位以上	31			51		26		
	選択		53 以上	第Ⅰ選択科目から 5 1 単位以上		33 以上	選択科目から 3 3 単位以上		58 以上	選択科目から 5 8 単位以上
	+		備考参照							
備 考	・地球総合工学科の専門教育科目のうち、学科長の承認を得て当該履修コースにおいて第Ⅰ選択科目、第Ⅱ選択科目及び選択科目として指定する授業科目以外の授業科目の単位を修得した場合は、船舶海洋工学コースにおいては第Ⅱ選択科目の単位数に、社会基盤工学コース及び建築工学コースにおいては選択科目の単位数にそれぞれ加えることができる。									
	・他学科に属する専門教育科目、国際交流科目及びコミュニケーションデザイン科目のうち、学科長の承認を得て修得した単位は、船舶海洋工学コースにおいては第Ⅱ選択科目の単位数に、社会基盤工学コース及び建築工学コースにおいては選択科目の単位数にそれぞれ加えることができる。 ・他学部属する専門教育科目、グローバルコラボレーション科目並びに大学コンソーシアム大阪提供科目のうち、学科長の承認を得て修得した単位は、次のとおり当該科目の単位数にそれぞれ加えることができる。 (1) 船舶海洋工学コース 他学部属する専門教育科目及びグローバルコラボレーション科目の修得単位は、第Ⅱ選択科目の単位数に加えることができる。大学コンソーシアム大阪提供科目の修得単位は共通教育系科目における「その他」の科目の単位とする。 (2) 社会基盤工学コース及び建築工学コース 他学部属する専門教育科目、グローバルコラボレーション科目及び大学コンソーシアム大阪提供科目の修得単位は、合わせて 4 単位を上限として選択科目の単位数に加えることができる。 ・「卒業研究」を履修するためには、3 年次終了までに、あらかじめ定められた単位数を修得しておくことが必要である。後述の「「卒業研究」を履修するための条件」を参照すること。									

## 専門基礎教育科目（地球総合工学科）

（◎＝必修科目、○＝選択科目）

配当学年	科目区分	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示			開講区分				備考
				船舶 海洋工 学	社会 基盤工 学	建築 工学	春 学 期	夏 学 期	秋 学 期	冬 学 期	
1年	講義	解析学A	2	◎	◎	◎	✓	✓			
		解析学B	2	◎	◎	◎			✓	✓	
		線形代数学A	2	◎	◎	◎	✓	✓			
		線形代数学B	2	◎	◎	◎			✓	✓	
		力学Ⅰ	2	○	○	○	✓	✓			
		力学Ⅱ	2	○	○	○			✓	✓	
		図学B-Ⅰ	2	◎	◎	◎	✓	✓			
		図学B-Ⅱ	2	◎	◎	◎			✓	✓	
		化学概論	2	○	○	○	✓	✓			
		生物科学概論B	2	○	○	○			✓	✓	
		統計学C-Ⅰ	2	○	○	○	✓	✓			
		統計学C-Ⅱ	2	○	○	○			✓	✓	
		地球科学A	2	○	○	○	✓	✓			
	演習	数学演習A	1	◎	◎	◎	✓	✓			
		数学演習B	1	◎	◎	◎			✓	✓	
		図学実習B-Ⅰ	1	◎	◎	◎	✓	✓			
		図学実習B-Ⅱ	1	◎	◎	◎			✓	✓	
	実験	物理学実験	2	◎	◎	◎			✓	✓	
2年	講義	熱学・統計力学要論	2	○	○	○	✓	✓			2年次の春～夏学期開講

## ○ 分属学科目の決定方法

地球総合工学科では下記の分属に関する取り決めに従って分属学科目が決定されます。

### (1) 地球総合工学科の構成と分属

地球総合工学科は、船舶海洋工学科目、社会基盤工学科目、建築工学科目の3学科目から構成されている。地球総合工学科に在籍し、所定の要件（「(3)分属の要件」参照）を満足するすべての学生は、1年次終了時に上記3学科目のいずれかに分属したうえで、2年～4年次配当の科目を履修しなければならない。分属しなければ2年次以降の専門教育科目を履修することができないので注意されたい。

### (2) 分属時期

学科目への分属時期は、1年次終了時とする。

### (3) 分属の要件

分属の要件は、1年次終了時に、1年次に配当されている科目（教職科目を除く）のうち、25単位以上を修得していることである。25単位とは、1年次に修得できる単位数のほぼ半数に相当する。1年次終了時に分属の要件を満たしていない者は、その後この要件を満たした年度の終了時に分属することとする。

#### (4) 各学科目の分属人数

各学科目の分属人数は、分属する総人数を、船舶海洋工学科目、社会基盤工学科目、建築工学科目で均等になるよう配分した人数である。総人数を学科目の数3で除した余りについては、後述する最終希望調査において第1希望の多い学科目から優先して配分するものとする。

#### (5) 分属学科目の決定方法

分属学科目は、各人の希望をもとに決定される。希望者が多数で、各学科目への分属人数枠を超える場合には、1年次の履修科目の成績に基づいて分属学科目を決定する。

なお、希望調査を提出しなかった者の分属学科目は学科の判断で決められる。また、分属の要件を満たす者は必ずいずれかの学科目に分属しなければならない。

#### (6) 分属学科目決定における成績評価

分属学科目の決定に用いられる成績の評価は、各科目の素点（0～100点）の総計で行う。不合格の科目についても素点が評価されるが、履修していない科目の評価は0点と見なされる。

1年次に配当されている科目のうち、分属学科目決定における成績評価の対象となる科目は以下のとおりである。

##### 1) 共通教育系科目（13科目）

- ・教養教育科目（国際教養2を含む）：素点の高い科目から順に上位5科目
- ・言語・情報教育科目のうち外国語教育科目：素点の高い科目から順に上位6科目
- ・健康・スポーツ教育科目：素点の高い科目から順に上位2科目

##### 2) 専門教育系科目（17科目）

- ・専門基礎教育科目：必修の11科目全部及び選択科目のうち素点の高い科目から順に上位4科目  
（2年次春～夏学期に割り振られている熱学・統計力学要論は除く）
- ・専門教育科目：地球総合工学概論Ⅰ、地球総合工学概論Ⅱの2科目

なお、これらの成績評価の対象となる科目は、1年次に履修できる授業科目の大部分を占めるので、履修申請においては、履修科目数が評価対象科目数を下回ることのない様に十分注意すること。

#### (7) 分属学科目決定の手順

- 1) それぞれの学科目毎に、第1希望に基づいて成績上位の者から順に分属人数枠内の者を当該学科目の分属者とする。
- 2) 第1希望の学科目で分属人数枠に入らない者については、第2希望に基づいて分属学科目を決定する。決定方法は第1希望の場合と同様とするが、第2希望の学科目がすでに第1希望で分属人数枠に達している場合には、成績にかかわらずその学科目に分属することはできない。
- 3) 同様の方法で、第3希望以下、各学科目の分属者数が分属人数枠になるまで同じ手順を繰り返し、全学科目への分属者を決定する。
- 4) なお、分属人数枠の最下位に、同順位の成績をもつ者が2名以上存在する場合には、専門教育科目の成績上位の者を優位とする。以上の判定においても優劣がつかない場合には、専門基礎教育科目（必修）の成績により同様に判定する。

#### (8)分属学科目希望調査

できるだけ各人の希望に添った円滑な分属学科目の決定を行うため、最終の分属学科目希望調査までに、4月の新入生学部別履修指導、夏季休業中の重要事項説明会、1年次終了直前の重要事項説明会（実際には専門教育科目「地球総合工学概論Ⅱ」の最終回）において分属学科目希望調査を実施する。

最終的な分属学科目希望調査を3月初旬の重要事項説明会において行い、「(7) 分属学科目決定の手順」に記載された方法に従って、分属学科目を決定する。

### ○「卒業研究」を履修するための条件

「卒業研究」を履修するためには、学科目ごとに決められた次のような必要条件を満たしていなければなりません。

#### 船舶海洋工学科目

「卒業研究」を履修するためには、以下の4つの条件をすべて満たしていなければなりません。

- ①共通教育系科目において卒業に要する単位（27単位以上）を修得していること。
- ②専門基礎教育科目において卒業に要する単位（28単位以上）を修得していること。
- ③専門教育科目のうち3年次終了までに修得できる全ての必修科目23単位を修得していること。
- ④専門教育科目のうち3年次終了までに修得できる第一選択科目の中から36単位以上を修得していること。

#### 社会基盤工学科目

「卒業研究」を履修するためには、以下の4つの条件をすべて満たしていなければなりません。

- ①共通教育系科目において卒業に要する単位（27単位以上）を修得していること。
- ②専門基礎教育科目において卒業に要する単位（28単位以上）を修得していること。
- ③専門教育科目において必修科目33単位以上を修得していること。
- ④専門教育科目において選択科目24単位以上を修得していること。

#### 建築工学科目

「卒業研究」を履修するためには、以下の4つの条件をすべて満たしていなければなりません。

- ①共通教育系科目において卒業に要する単位（27単位以上）を修得していること。
- ②専門基礎教育科目において卒業に要する単位（28単位以上）を修得していること。
- ③3年次までの「建築設計第一部」、「建築設計第二部」、「建築設計第三部」、「建築設計第四部」の単位をすべて修得していること。ただし、これらの科目は第一部から順を追って履修しなければならない。
- ④専門教育科目のうち、3年次までの必修及び選択科目の中から、75単位以上の単位を修得していること。

専門教育科目(地球総合工学科)(1)

(◎＝必修科目、○＝第Ⅰ選択科目、△＝第Ⅱ選択科目、□＝選択科目)

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示			開講区分					備考
				船舶海洋工学	社会基盤工学	建築工学	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	集中	
1年	講義	地球総合工学概論Ⅰ	2	◎	◎	◎	✓	✓				
		地球総合工学概論Ⅱ	2	◎	◎	◎			✓	✓		
2年	講義	構造力学基礎	2		◎	□	✓	✓				
	演習	構造力学基礎演習	1		◎	□	✓	✓				
	講義	流体力学	2		◎		✓	✓				社会基盤 対象
		数学解析Ⅰ	2	○	◎	□	✓	✓				
		数学解析Ⅱ	2	○	◎	□			✓	✓		
		数学解析Ⅲ	2	○	□				✓	✓		
		確率統計	2	○	□	□	✓	✓				
		計画学基礎	2		◎		✓	✓				
	演習	数学演習Ⅰ	1	◎			✓	✓				
		数学演習Ⅱ	1	◎					✓	✓		
		力学演習Ⅰ	1	◎			✓	✓				
		力学演習Ⅱ	1	◎					✓	✓		
	講義	船舶海洋工学序論	2	◎			✓	✓				
		材料力学Ⅰ	2	◎			✓	✓				
		材料力学Ⅱ	2	◎					✓	✓		
		流体力学Ⅰ	2	◎			✓	✓				
		流体力学Ⅱ	2	◎					✓	✓		
	実習	船舶設計製図	2	◎			✓	✓	✓	✓		
	講義	計画システム学	3		◎				✓	✓		
		測量学	2		◎		✓	✓				
	実習	測量学実習	1		◎		✓	✓				
	講義・演習	構造力学及び演習	3		◎				✓	✓		
		水理学Ⅰ及び演習	3		◎				✓	✓		
		水理学Ⅱ及び演習	3		◎				✓	✓		
		土質力学Ⅰ及び演習	3		◎		✓	✓				
		土質力学Ⅱ及び演習	3		◎				✓	✓		
	講義	地球環境学概論	2		◎				✓	✓		
		構造材料学	2		◎				✓	✓		
	演習	建築設計第一部	2			◎	✓	✓				
		建築設計第二部	3			◎			✓	✓		
		建築総合デザイン	3			◎	✓	✓				
	講義	電気工学通論	2	○					✓	✓		
		運動基礎論	2	○					✓	✓		
		海洋学概論	2	○					✓	✓		
		浮体静力学	2	○			✓	✓				
		弾性学	2	○					✓	✓		
		数値計算法	2		□				✓	✓		
		建築計画基礎	2			□	✓	✓				

## 専門教育科目(地球総合工学科)(2)

(◎＝必修科目、○＝第Ⅰ選択科目、△＝第Ⅱ選択科目、□＝選択科目)

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示			開講学期					備考
				船舶海洋工学	社会基盤工学	建築工学	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	集中	
2年	講義	建築史第一部	2			□	✓	✓				
		建築史第二部	2			□			✓	✓		
		居住環境計画	2			□			✓	✓		
		建築空気環境	2			□	✓	✓				
		建築熟環境	2			□			✓	✓		
	演習	建築環境工学演習第一部	1			□			✓	✓		
	講義	建築構造力学A	2			□			✓	✓		
	演習	建築構造力学演習A	1			□			✓	✓		
	講義	建築振動工学第一部	2			□			✓	✓		
		建築鉄筋コンクリート構造学第一部	2			□			✓	✓		
		建築材料学	2			□	✓	✓				
	実習	造形実習	1			□			✓	✓		
	講義	総合科目Ⅲ	2	△	□	□	✓	✓				
3年	講義	工学倫理	2	◎	◎	◎	✓	✓				
	実験	船舶海洋工学実験	1	◎			✓	✓				
		社会基盤工学創成実験	1		◎				✓	✓		
	演習	建築設計第三部	3			◎	✓	✓				
		建築設計第四部	3			◎			✓	✓		
	実験	建築構造学実験	1			◎	✓	✓				
	講義	数値解析	2	○			✓	✓				
		振動工学	2	○			✓	✓				
	講義・演習	基礎構造解析学	2	○			✓	✓				
	講義	数値構造解析学	2	○					✓	✓		
	講義・演習	船用機関通論	2	○					✓	✓		
	講義	流力弾性学	2	○					✓	✓		
		ランダム海洋現象学	2	○					✓	✓		
		溶接構造強度学	2	○			✓	✓				
		流体抵抗学	2	○			✓	✓				
		船体推進学	2	○					✓	✓		
		海中機器工学	2	○			✓	✓				
		船体構造論Ⅰ	2	○			✓	✓				
		船体構造論Ⅱ	2	○					✓	✓		
	講義・演習	船体運動力学	2	○			✓	✓				
		運動制御学	2	○					✓	✓		
	実習	工場実習	2	○							✓	春～夏学期開講
	講義	工程管理論	2	○			✓	✓				
		海事政策論	2	○			✓	✓				
		船舶海洋設計学及び演習	3	○					✓	✓		
		船舶復原論	2	○					✓	✓		
		構造信頼性工学	2	○					✓	✓		



### 専門教育科目(地球総合工学科)(3)

(◎＝必修科目、○＝第Ⅰ選択科目、△＝第Ⅱ選択科目、□＝選択科目)

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示			開講学期					備考
				船舶海洋工学	社会基盤工学	建築工学	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	集中	
3年	講義	海洋工学概論	2	○			✓	✓				
		海事専門実用英語	2	○					✓	✓		
		連続体力学	2		□		✓	✓				
		マトリックス構造解析学	2		□				✓	✓		
	講義・演習	構造動力学	2		□				✓	✓		
	講義	鋼構造学	3		□		✓	✓				
		コンクリート構造学	3		□		✓	✓				
		河川流域工学	2		□		✓	✓				
		環境水理学	2		□				✓	✓		
		沿岸域の防災工学	2		□		✓	✓				
		ウォーターフロント工学	2		□				✓	✓		
		水管理工学	2		□				✓	✓		
		地下空間工学	2		□				✓	✓		
		社会基盤マネジメント	2		□		✓	✓				
		応用地質学	2		□				✓	✓		
		地盤・基礎設計学	2		□		✓	✓				
		道路交通システム計画	2		□		✓	✓				
		交通まちづくり学	3		□		✓	✓				
		公共交通システム計画	2		□				✓	✓		
		社会基盤環境学	2		□		✓	✓				
	実習	社会基盤工学実習	1		□						✓	秋～冬学期開講
	演習	社会基盤工学ゼミナール	1		□				✓	✓		
	講義	構造設計学	2		□				✓	✓		
		社会基盤材料学実験	1		□		✓	✓				
		アセットマネジメント	2		□				✓	✓		
		都市計画	2			□			✓	✓		
		建築計画各論	2			□	✓	✓				
		建築人間工学・地域施設計画	2			□			✓	✓		
		建築光環境	2			□	✓	✓				
		建築音環境	2			□			✓	✓		
	演習	建築環境工学演習第二部	1			□			✓	✓		
	講義	建築設備学	2			□			✓	✓		
		建築構造力学B	2			□	✓	✓				
	演習	建築構造力学演習B	1			□	✓	✓				
	講義	建築振動工学第二部	2			□	✓	✓				
		建築鉄筋コンクリート構造学第二部	2			□	✓	✓				
		建築鋼構造学第一部	2			□	✓	✓				
		建築鋼構造学第二部	2			□			✓	✓		
		建築基礎工学	2			□			✓	✓		
	演習	建築鉄筋コンクリート構造学演習	2			□	✓	✓				

専門教育科目(地球総合工学科)(4)

(◎＝必修科目、○＝第Ⅰ選択科目、△＝第Ⅱ選択科目、□＝選択科目)

配当学年	授業形態	授 業 科 目	単 位 数	コース別指示			開講学期					備考
				船舶海洋工学	社会基盤工学	建築工学	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	集中	
3年	演習	建築鋼構造学演習	2			□			✓	✓		
	講義	建築生産・施工学	2			□			✓	✓		
		建築法規	2			□			✓	✓		
		総合科目Ⅳ	2	△	□	□			✓	✓		
4年	実習	卒業研究	8	◎	◎		✓	✓	✓	✓		
		卒業研究	5			◎	✓	✓	✓	✓		
	講義	流体力学	2			□	✓	✓				建築 対象
		計画学基礎	2			□	✓	✓				
	演習	建築設計第五部	3			□	✓	✓				
		空調システム設計	1			□	✓	✓				
	講義・演習	建築プレストレストコンクリート構造学	2			□	✓	✓				
	講義	総合科目Ⅰ	1	△	□	□	✓					
		総合科目Ⅱ	1	△	□	□		✓				
	講義・演習	総合科目Ⅲ	1	△	□	□						
		総合科目Ⅴ	1	△	□	□			✓			